

2025年度 学校運営協議会 中部中学校区全体会 を開催しました

6月26日(木)に第1回を中部中学校、11月13日(木)に第2回を末広小学校で「2025年度 学校運営協議会 中部中学校区全体会」が参集開催されました。

全体会では、今年度の全体会の進め方を確認したのち、中部中学校区3校それぞれの協議会の活動内容や各校の現状報告がありました。また、「中学校休日部活動地域移行に向けた取り組み」「シン学校プロジェクト」についての報告、さらに、「登下校の安全」「制服の着用」などについて協議が行われました。

中部中学校区3校と地域、家庭が手を取り合って、子どもたちの健やかな成長のために一体となって教育活動を進めていけるよう委員一同サポートしていきます。



小中連携事業

3校で「あいさつ運動」を実施しました

11月25日(火)から4日間にわたり、今年も恒例の3校合同「あいさつ運動」が展開されました。中学生が母校である小学校を訪れ、後輩たちとあいさつを交わすこの活動は、地域の子どもの心をつなぐ大切な時間となっています。

各校の門の前では、登校する子どもたちを元気な声が迎え、あちこちで笑顔の花が咲きました。一言のあいさつが、子どもたちの心に安心感を与え、一日を元気に始めるエネルギーになったと感じています。

さらに、この期間は「家庭でのあいさつ」にも意識を向けました。毎日当たり前に交わす言葉の中に、家族を思いやる気持ちを込めることで、家庭内の雰囲気もより温かくなったことと思います。この素晴らしい習慣を、運動期間中だけのものにせず、これからも中部中校区の誇りとして大切にしていきたいですね。



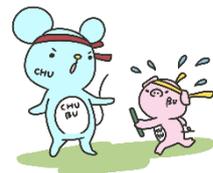
2025年度

ニュース&トピックス

このコーナーでは、中部中学校区の3校で行われた取り組みなどをご紹介します。

新たな伝統

中部中学校



10月16日(木)、秋晴れのもと体育祭を開催しました。今年度は「青春全開 ～心をついに勝利をつかめ～」のスローガンを掲げ、全校生徒が情熱あふれる姿を見せてくれました。

昨年度導入された3学年合同の「群団制」は、今年、中部中の確かな伝統として定着しました。学年の枠を超えた活動を通し、主体性と豊かな人間関係を築く力を育むことが目的です。本番に向け、3年生は実行委員を中心に強力なリーダーシップを発揮。下級生を粘り強く導き、最高学年としての責任を果たす姿が随所で見られました。

本番の群団パフォーマンスでは、各群団がスローガン通り「心をついに」し、グラウンドいっばいに響く声と一糸乱れぬ演舞を披露しました。学年を超えた絆が形となった瞬間は、見る者に大きな感動を与えました。

行事を終え、1・2年生からは「先輩を目標に自分たちが中部中を引っ張っていきたい」という頼もしい声が上がっています。大きな学校行事を経て、生徒たちはまた一步、たくましく成長しました。



なかよしフェスティバル 神山小学校

神山小学校では毎年ペア学級を作り、異学年交流をしています。そのひとつに、9月に行われた「なかよしフェスティバル」があります。今年度も児童会役員と代表委員が中心となって企画し、すばらしいフェスティバルを作り上げてくれました。



高学年と低学年がペアになって、様々なゲームにチャレンジしていきます。高学年が低学年の児童にゲームのやり方を優しく説明したり、先に挑戦させてあげたりする様子があちらこちらで見られ、温かい雰囲気運動場に広がりました。思いやりや協力、感謝の心が育つよい機会になりました。低学年の児童もお兄さんお姉さんの優しさに触れ、とても嬉しそうでした。笑顔でいっぱいになるなかよしフェスティバルが今後も続いていくようにしたいです。



アートフェスタ 末広小学校

1月23日(金)から24日(土)にかけてアートフェスタを開催しました。

1年生は生活科で集めたどんぐりや松ぼっくりを生かし、素敵な作品にしました。

2年生は初めて使うカッターナイフで、紙を切り抜き、美しい作品を仕上げました。

3年生は金槌を使った釘打ちに挑戦です。釘をまっすぐ打つ難しさに苦戦しながらも、楽しい作品を作り上げました。

4年生で初めて手にする彫刻刀。木板を彫る独特の感触を楽しみながら、白と黒のコントラストが美しい木版画を完成させました。

5年生は鏡の反射を利用した工作に取り組みました。鏡の中に広がる奥行きや、写り込みの効果を計算しながら、材料を配置することで楽しい作品ができました。

6年生は小学校生活の集大成として、将来の自分を想像し、夢に向かって生き生きと活動する自分の姿を、力強く表現しました。

作品を観た児童たちからは「1年生の松ぼっくりがかわいいね」といった、互いの成長や工夫を称え合う温かな声が聞かれました。

